



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社トプコン
コード番号 7732 URL <https://www.topcon.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 CEO (氏名) 江藤 隆志
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 秋山 治彦 (TEL) 03-3558-2532
財務本部長
四半期報告書提出予定日 2024年2月9日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家・メディア向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	156,860	0.0	6,504	△53.5	4,588	△63.5	353	△95.5
2023年3月期第3四半期	156,790	25.6	13,974	35.1	12,565	35.9	7,859	36.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 7,680百万円(△31.7%) 2023年3月期第3四半期 11,238百万円(51.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	3.35	3.35
2023年3月期第3四半期	74.67	74.67

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	234,136	100,253	42.0	934.01
2023年3月期	207,890	97,040	45.8	905.17

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 98,399百万円 2023年3月期 95,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	22.00	42.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	22.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	215,000	△0.3	13,000	△33.5	11,000	△38.3	3,000	△74.6	28.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期3Q	108,322,242株	2023年3月期	108,265,842株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	2,970,308株	2023年3月期	2,970,058株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期3Q	105,329,497株	2023年3月期3Q	105,258,290株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想は、本資料の発表日現在においての将来の事業環境の動向、競合状況、為替変動等に関する予想を前提としており、実際の業績は、今後様々な要因により、業績予想と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における経済環境は、欧米を中心とした各国の金融引締め長期化への警戒、またロシア・ウクライナ情勢の長期化やイスラエルのガザ侵攻等、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経済環境にあつて当社グループは、『「医・食・住」に関する社会的課題を解決し、豊かな社会づくりに貢献します。』を経営理念に掲げ、「尖ったDXで、世界を丸く。」をスローガンに、持続可能な社会の実現に向け、医・食・住の諸課題をDXソリューションで解決するグローバル企業として、企業価値向上の実現に取り組んでまいりました。

こうした中で、当第3四半期累計期間の当社グループの〔連結〕業績は、次のようになりました。

第1四半期より、後述の〔事業の種類別セグメント情報〕に記載の通り、従来の「スマートインフラ事業」と「ポジショニング・カンパニー」の報告セグメントの区分を「ポジショニング事業」に変更しております。

売上高は、ポジショニング事業は減収となりましたが、一方、アイケア事業は好調な販売が持続し、また円安による影響も追い風に作用したことで、連結売上高は、156,860百万円（前年同期比横ばい）となりました。利益面では、実質的な物量ベースでの売上高が前年同期を下回ったため、人件費や開発費等の増加を吸収できず、営業利益は6,504百万円（前年同期と比べ△53.5%の減少）、経常利益は4,588百万円（前年同期と比べ△63.5%の減少）となりました。また第1四半期に発生した減損損失に加え第3四半期に計上した訴訟関連費用の影響により、親会社株主に帰属する四半期純利益は353百万円（前年同期と比べ△95.5%の減少）となりました。

（事業セグメント毎の経営成績）

ポジショニング事業は、アジア・欧州は堅調に推移したものの、北米住宅建設市場の低迷や景気不透明感に伴う買い控えが継続し最大市場である米国で販売が伸び悩みました。また、円安の恩恵はあったものの、前年度に特需（大型案件）があったこともあり、売上高は101,979百万円（前年同期と比べ△4.5%の減少）となりました。営業利益は、欧米を中心に新規雇用の凍結や販管費削減に向けた施策に着手したものの、営業活動費や人件費、開発費等の増加を吸収するには至らず、5,902百万円（前年同期と比べ△58.7%の減少）となりました。

アイケア事業では、大手眼鏡チェーン店向けを中心に成長事業に位置付けているスクリーニングビジネスが順調に進捗したことに加え、スクリーニングビジネスの持つ強みを生かした基盤事業の拡大も相俟つて、好調な販売が持続し、売上高は54,204百万円（前年同期と比べ10.0%の増加）となりました。営業利益は、成長投資を維持しつつも費用増を抑制したことから、4,182百万円（前年同期と比べ25.6%の増加）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期末の財政状態は、総資産が234,136百万円、純資産が100,253百万円、自己資本比率が42.0%となりました。総資産は、主に売上債権等が減少したものの、棚卸資産やのれんの増加等により、前期末（2023年3月期末）に比べ、26,245百万円増加いたしました。また、純資産は、配当金の支払による減少があったものの、為替換算調整勘定等が増加したこと等により、3,213百万円増加いたしました。これらの結果、自己資本比率は、前期末（2023年3月期末）から3.8%の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、本日（2024年1月29日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,660	21,728
受取手形及び売掛金	47,454	39,393
商品及び製品	24,309	27,764
仕掛品	2,048	2,197
原材料及び貯蔵品	25,151	29,738
その他	8,375	12,870
貸倒引当金	△1,925	△1,477
流動資産合計	123,074	132,215
固定資産		
有形固定資産	32,848	37,866
無形固定資産		
のれん	8,994	18,468
その他	21,333	20,613
無形固定資産合計	30,328	39,082
投資その他の資産	21,638	24,971
固定資産合計	84,815	101,920
資産合計	207,890	234,136
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,389	15,588
短期借入金	20,712	21,884
リース債務	2,770	3,167
未払法人税等	1,486	2,567
製品保証引当金	1,890	1,824
その他	24,032	24,804
流動負債合計	67,282	69,836
固定負債		
社債	20,000	40,000
長期借入金	2,058	1,979
リース債務	7,943	7,784
役員退職慰労引当金	42	41
退職給付に係る負債	4,470	3,641
その他	9,052	10,599
固定負債合計	43,567	64,046
負債合計	110,850	133,882

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,780	16,837
資本剰余金	20,682	20,739
利益剰余金	52,635	48,565
自己株式	△3,171	△3,172
株主資本合計	86,926	82,969
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	891	1,722
繰延ヘッジ損益	14	-
為替換算調整勘定	7,313	13,079
退職給付に係る調整累計額	164	628
その他の包括利益累計額合計	8,384	15,430
新株予約権	63	63
非支配株主持分	1,666	1,790
純資産合計	97,040	100,253
負債純資産合計	207,890	234,136

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	156,790	156,860
売上原価	75,325	73,636
売上総利益	81,465	83,224
販売費及び一般管理費	67,491	76,719
営業利益	13,974	6,504
営業外収益		
受取利息	116	196
受取配当金	38	57
為替差益	94	-
投資有価証券評価益	-	180
受取保険金	278	-
その他	222	328
営業外収益合計	750	762
営業外費用		
支払利息	662	1,612
持分法による投資損失	330	197
投資有価証券評価損	574	-
為替差損	-	133
その他	592	734
営業外費用合計	2,159	2,678
経常利益	12,565	4,588
特別利益		
受取保険金	-	713
関係会社株式売却益	-	751
特別利益合計	-	1,465
特別損失		
減損損失	462	1,328
特別退職金	-	154
訴訟関連損失	-	3,327
特別損失合計	462	4,810
税金等調整前四半期純利益	12,103	1,243
法人税、住民税及び事業税	3,804	1,172
法人税等調整額	317	△480
法人税等合計	4,122	691
四半期純利益	7,981	551
非支配株主に帰属する四半期純利益	121	197
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,859	353

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	7,981	551
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△107	830
繰延ヘッジ損益	87	△14
為替換算調整勘定	3,229	5,843
退職給付に係る調整額	37	463
持分法適用会社に対する持分相当額	10	5
その他の包括利益合計	3,257	7,129
四半期包括利益	11,238	7,680
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,067	7,399
非支配株主に係る四半期包括利益	171	280

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

〔事業の種類別セグメント情報〕

当社は当連結会計年度を初年度とする3ヵ年の「中期経営計画2025」を策定し、その中の基本方針の一つである「基盤改革」として、「ポジショニング事業の効率最大化」を掲げております。これまではスマートインフラ事業、ポジショニング・カンパニーにおきまして地域を軸とした管理が中心でありましたが、今後はグローバルな競争優位性を高める為に事業効率を最大化することを重要視し、スマートインフラ事業、ポジショニング・カンパニーをポジショニング事業として管理していくことを主軸として参ります。

この方針により、顧客とマーケットを重視した製品・ソリューション開発をより一層加速させるとともに、適切且つ有用な経営情報の開示を行うため、以下の通り、報告セグメントの区分変更をしております。

報告セグメントを、従来の「スマートインフラ事業」「ポジショニング・カンパニー」「アイケア事業」及び「その他」の4区分から、「ポジショニング事業」「アイケア事業」及び「その他」の3区分に変更しております。

従来のセグメント区分との関係は、次の通りとなります。

「スマートインフラ事業」と「ポジショニング・カンパニー」として区分していた事業は、新たに「ポジショニング事業」に区分しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ポジショニング事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	106,761	49,118	910	156,790	—	156,790
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	171	2	174	△174	—
計	106,761	49,289	913	156,964	△174	156,790
セグメント利益又はセグメント損失(△)	14,285	3,329	△320	17,294	△3,320	13,974

(注) セグメント利益の調整額△3,320百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期連結損益計算書計上額
	ポジショニング事業	アイケア事業	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	101,972	54,005	881	156,860	—	156,860
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	198	3	208	△208	—
計	101,979	54,204	884	157,068	△208	156,860
セグメント利益又はセグメント損失(△)	5,902	4,182	△150	9,934	△3,429	6,504

(注) セグメント利益の調整額△3,429百万円は、主に各報告セグメントに配分していないのれんの償却額及び全社費用(先端研究開発費用)であります。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	合計
海外売上高	62,994	35,564	7,796	13,731	8,738	128,826
連結売上高						156,790
連結売上高比(%)	40.2	22.7	5.0	8.8	5.6	82.2

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	北米	ヨーロッパ	中国	アジア・オセアニア	その他	合計
海外売上高	55,979	40,185	9,167	13,900	10,535	129,768
連結売上高						156,860
連結売上高比(%)	35.7	25.6	5.8	8.9	6.7	82.7

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 「その他」の区分に所属する主な国又は地域の内訳は以下のとおりであります。

中南米、中東、ロシア、アフリカ